

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長尾雅司
 (氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,942	10.0	1,436	13.3	1,377	13.1	800	3.6
27年3月期第3四半期	8,130	0.9	1,267	△3.3	1,217	△5.7	772	△2.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 779百万円 (△9.0%) 27年3月期第3四半期 856百万円 (6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	70.83	—
27年3月期第3四半期	65.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	15,822	10,046	63.5	982.82
27年3月期	15,037	10,844	72.1	921.18

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,046百万円 27年3月期 10,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	22.00	22.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	7.6	2,050	13.3	2,000	14.5	1,300	27.1	110.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	14,000,000 株	27年3月期	14,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	3,777,672 株	27年3月期	2,227,635 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,307,350 株	27年3月期3Q	11,772,470 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめとする新興国における経済成長の鈍化はみられるものの、米国や欧州においては、緩やかながら景気回復基調が続きました。国内においては、企業業績に改善が見られるなど緩やかな回復基調にありますが、輸出や鉱工業生産が新興国経済の減速の影響を受け、横ばいが続いていることなどから、先行きに一部懸念が生じています。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、事業部主導経営への転換を図り、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めております。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高を上回る結果となりました。また、半導体、液晶製造装置関連市場におきましても、設備投資が増加傾向にあり、前年同期の売上高を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は89億42百万円（前年同期比10.0%増）となり、営業利益は14億36百万円（前年同期比13.3%増）、経常利益は13億77百万円（前年同期比13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（前年同期比3.6%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が順調に伸び、売上高は16億74百万円（前年同期比21.2%増）、セグメント利益は3億85百万円（同57.6%増）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、底堅い需要に支えられ、売上高は34億61百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は12億32百万円（同1.3%減）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が堅調に推移しており、売上高は29億1百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益は8億35百万円（同3.4%増）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注が堅調に推移しており、売上高は10億9百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は2億14百万円（同14.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億84百万円増加し、158億22百万円となりました。これは、現金及び預金が1億53百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が2億61百万円増加したこと、有形固定資産が1億88百万円増加した反面、投資有価証券が72百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億82百万円増加し、57億75百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加したこと、賞与引当金が増加したこと、長期借入金が増加した反面、未払法人税等が増加したこと、退職給付に係る負債が1億35百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億97百万円減少し、100億46百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益8億円と配当金支払い2億58百万円により、利益剰余金が増加した反面、自己株式が13億17百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,537	3,691
受取手形及び売掛金	3,710	3,972
商品及び製品	330	338
仕掛品	374	472
原材料及び貯蔵品	796	871
繰延税金資産	73	107
その他	152	181
流動資産合計	8,976	9,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,434	1,528
機械装置及び運搬具（純額）	490	640
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	104	27
その他（純額）	42	63
有形固定資産合計	3,493	3,681
無形固定資産	104	122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,914	1,841
長期貸付金	1	15
関係会社長期貸付金	28	37
生命保険積立金	69	75
繰延税金資産	408	373
その他	41	40
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,463	2,383
固定資産合計	6,061	6,187
資産合計	15,037	15,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	533	556
短期借入金	363	767
未払金	275	215
未払法人税等	374	167
賞与引当金	—	117
役員賞与引当金	27	—
その他	216	161
流動負債合計	1,791	1,986
固定負債		
長期借入金	545	2,043
退職給付に係る負債	1,449	1,313
役員退職慰労引当金	194	215
資産除去債務	54	55
長期預り保証金	157	161
固定負債合計	2,402	3,789
負債合計	4,193	5,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	10,171	10,713
自己株式	△1,674	△2,991
株主資本合計	10,679	9,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	81
為替換算調整勘定	69	61
その他の包括利益累計額合計	164	143
純資産合計	10,844	10,046
負債純資産合計	15,037	15,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,130	8,942
売上原価	5,622	6,182
売上総利益	2,508	2,759
販売費及び一般管理費	1,241	1,322
営業利益	1,267	1,436
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	23
為替差益	45	1
その他	9	4
営業外収益合計	67	29
営業外費用		
支払利息	8	8
売上債権売却損	3	2
持分法による投資損失	66	70
複合金融商品評価損	30	1
その他	8	6
営業外費用合計	117	89
経常利益	1,217	1,377
特別損失		
投資有価証券評価損	—	100
特別損失合計	—	100
税金等調整前四半期純利益	1,217	1,277
法人税、住民税及び事業税	480	468
法人税等調整額	△35	7
法人税等合計	445	476
四半期純利益	772	800
親会社株主に帰属する四半期純利益	772	800

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	772	800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△7
その他の包括利益合計	83	△21
四半期包括利益	856	779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	856	779

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,550,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,317百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,380	3,216	2,411	960	7,969	160	8,130
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	68	135	—	205	—	205
計	1,381	3,285	2,547	960	8,175	160	8,336
セグメント利益	244	1,248	807	187	2,487	52	2,540

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,487
「その他」の区分の利益	52
セグメント間取引消去	△32
全社費用(注)	△1,211
棚卸資産の調整額	△29
四半期連結損益計算書の営業利益	1,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,673	3,400	2,697	1,005	8,777	165	8,942
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	60	203	3	268	—	268
計	1,674	3,461	2,901	1,009	9,045	165	9,211
セグメント利益	385	1,232	835	214	2,668	60	2,729

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,668
「その他」の区分の利益	60
セグメント間取引消去	△38
全社費用（注）	△1,252
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,436

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。